

科目名	畜産	単位数	2単位	学科・学年	畜産総合 科 1年																																																							
使用教科書	畜産	農文協	副教材等	日本農業技術検定テキスト																																																								
学習目標	<p>家畜を飼育するにあたり、基礎基本的な知識を習得させ、家畜の歴史、特性や飼育環境を理解させると共に、動物愛護の精神と能力を向上させることを目標に学習します。</p> <p>なお、この科目は1年から3年まで分割履修になっています。1年生においては養鶏を中心に家畜の学習をすすめています。実際に鶏を雛から飼育し出荷までを体験し、その他、専門科目との関連を図り、系統だって学び、農業に関する視野を広げることも目標としています。</p>																																																											
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとつまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む姿勢であるか。 ・協力して取り組む姿勢があるか。 ・遅刻や欠席がなく、授業に対し研究心を持っているか。 </td> </tr> <tr> <td>②思考・判断</td> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 ・発言の有無。 </td> </tr> <tr> <td>③技能・表現</td> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・実験・実習において適切な方法で行っているか。 ・観察などに積極的に取り組めるか。 </td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や授業の質問事項に適切に答えられるか。 </td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習・実験態度</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>自己評価の実施</td> </tr> <tr> <td>ノート提出</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>学期に1回実施</td> </tr> <tr> <td>定期考査</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>定期考査、提出物（ノート、レポート）、出席状況、学習状況から総合的に評価します。</p>					①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む姿勢であるか。 ・協力して取り組む姿勢があるか。 ・遅刻や欠席がなく、授業に対し研究心を持っているか。 					②思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 ・発言の有無。 					③技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・実習において適切な方法で行っているか。 ・観察などに積極的に取り組めるか。 					④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や授業の質問事項に適切に答えられるか。 						評価方法\観点	①	②	③	④		学習・実験態度	◎	◎	◎	◎	自己評価の実施	ノート提出	○	◎	—	—	学期に1回実施	定期考査	—	◎	○	◎							
①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む姿勢であるか。 ・協力して取り組む姿勢があるか。 ・遅刻や欠席がなく、授業に対し研究心を持っているか。 																																																											
②思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの整理、資料プリント等が整理されているか。 ・発言の有無。 																																																											
③技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・実習において適切な方法で行っているか。 ・観察などに積極的に取り組めるか。 																																																											
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や授業の質問事項に適切に答えられるか。 																																																											
	評価方法\観点	①	②	③	④																																																							
	学習・実験態度	◎	◎	◎	◎	自己評価の実施																																																						
	ノート提出	○	◎	—	—	学期に1回実施																																																						
	定期考査	—	◎	○	◎																																																							
履修上の注意	<p>○授業形態は座学が中心ですが、鶏の測定など実習を行うこともあります。</p> <p>○餌やりや水替え床変え作業などを放課後などに行うことがあります。</p> <p>○本学科の専門教科の基幹となる科目ですので、しっかりとした意識で授業に臨んでください。</p>																																																											

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	1. 畜産の役割と動向 (1) 人間生活と畜産 (2) 日本畜産の動向と畜産物の需要 (3) 世界の畜産の動向	7	畜産の歴史や今日の動向を理解する。 鶏の飼育と産肉の成長や仕組みを理解します。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・1学期中間・期末考査
	5 6	2. 家畜の生理・生態の飼育環境 (1) 家畜の生理・生態と飼料 (2) 家畜の飼育環境とその調節 (3) 家畜の繁殖と育種 (4) 家畜ふん尿の処理と有効利用	14	家畜の成長や繁殖の仕方、生産の仕組みを理解し、その家畜の特性に合わせた飼料給与や飼育管理を行えるようになる。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・2学期中間・期末考査
	7 9	3. 飼料の生産と利用 (1) 飼料作物の特徴、種類と利用 (2) 耕地型飼料作物の栽培と調製 (3) 草地の維持・管理 (4) 飼料作物の調製と貯蔵 (5) 食品製造副産物などの利用	14		
2					
3	10 3	4. 家畜飼育の実際（養鶏） ①ニワトリの体の特徴 ②ニワトリの習性と行動 ③ニワトリの一生 ④生産物の特徴と利用 (1) ニワトリの品種と改良 (2) 飼育形態と施設・設備 (3) ニワトリの栄養と飼料 (4) 種卵の採取とふ化 (5) ひなの生理と育すう (6) 採卵鶏の生理と飼育技術 (7) ニワトリの衛生と病気 (8) 飼育計画と能力の評価 (9) 肉用鶏の生理と飼育技術 (10) 養鶏経営とその改善	35	高知県特産鶏はちきん地鶏の飼育と並行して授業をすすめることで、家畜としてのニワトリについてより深く理解する。	・学習状況観察 ・自己評価 ・出席状況 ・学年末考査
			70		